

協議会の構成機関の担当者を対象に他機関の現場の状況把握を目的とし、この度初となる現場見学会を実施しました。熊野川上流に位置する奈良県天川村冷水地区(砂防設備)(紀伊山系砂防事務所)、川迫ダム(堆砂対策)(関西電力)、聖宝谷(砂防堰堤)(天川村役場)において、各担当より現場説明を行い、参加者はそれぞれの機関が抱える課題についてより認識を深めました。

○日時：令和6年11月27日(水)13時～16時

○形式：対面形式

(場所：奈良県天川村 ①冷水地区(砂防設備)(説明：紀伊山系砂防事務所)

②聖宝谷(砂防堰堤)(説明：天川村役場)

③川迫ダム(堆砂対策)(説明：関西電力株式会社)

○参加者：天川村、十津川村、紀宝町、上北山村、下北山村、奈良県、和歌山県、関西電力(株)、電源開発(株)、紀伊山系砂防事務所、近畿地方整備局河川部(熊野川の総合的な治水対策協議会 構成機関 担当者) 計 15名



冷水地区の説明の様子



聖宝谷の説明の様子



川迫ダムの説明の様子



〈参加者からの意見〉

- ・砂防の担当ではなく普段は山間部の現場を見る機会がほとんどないため、工事規模や現地の状況を知る良い機会となった。
- ・山間部でどれだけ土砂の搬出が難しいか、実際に現場を訪れ道路を通行することで、イメージできてよかった。
- ・各市町村、地域で抱える現状は様々であり、今回治水・砂防の観点から流域や地域を考える良い機会になった。